

の西にある山で、淡窓の記すように「山高キニ非ザレドモ」眺望優れた山である。

六 その他日田周辺

以上、淡窓・咸宜園における放學と遊山、そして参詣の關係地を見てきたが、このほかにも特記すべき所が散見する。

鞍形尾神社(図1・59)

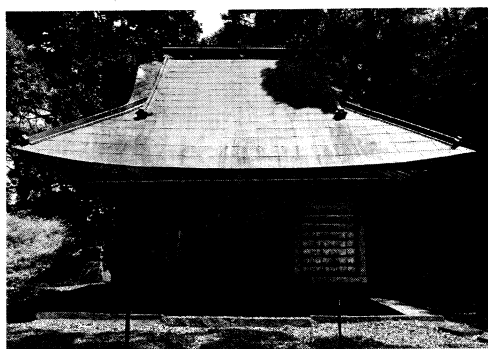
天保二年(一八三一)

・二月四日。伸平、謙吉、及門生三十余人ヲ携ヘテ馬鞍山ニ遊フ。俗ニクラカタヲト称スルモノナリ。家ヲ去ルコト一里半、路甚タ險ナラツ。眺望又佳ナリ。終日ニシテ帰レリ。此山、朝夕觀望スル所ナレトモ、往イテ遊フコトハ、此ニ始マレリ。

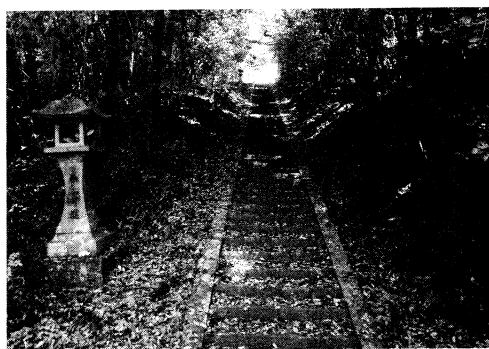
鞍形尾神社は玖珠川をさかのぼった馬原の山中にある。この神社は前述のように大原八幡神社の淵源にかかる伝承があり、天武天皇九年(六八〇)、鞍負郷岩松峰(日田市天瀬町金場の北)に宇佐の鷹の居の社にいます神と名乗る神が現れ、社(鞍形尾の宮)を建てて祀ったと伝える。

中尾村

天保三年(一八三三)



鞍形尾神社



尾力瀬(図1・58)

天保七年(一八三六)

・三月十三日。久兵衛力誘ニ因ツテ、尾力瀬ニ遊フ。謙吉、来真、直次、守一、文董、鉄之介従行。(略)尾力瀬ハ上堰ノ東ニアリ。昔年新渠ノ役アル時、先考ニ陪シテ一ヒ往ケリ。今又十四年ニシテ再遊セリ。近年久兵衛、渠上ニ醗醢ヲ栽ルコト三百余歩ナリ。近來花盛ニ開クラ以テ、行イテ見ルナリ。厩舎ニ於テ行厨ヲ開ク。既ニシテ舟ニノリ、川上ニ遡洄スル者、七八町ナリ。

・九月十八日。先考ニ陪シテ山ニ遊フ。伊織、伸平、謙吉、鉄之助ヨリシテ、家人皆往ケリ。合シテ二十余人ナリ。諸生ハ政太郎、藤平、予ニ従ヘリ。中尾村ニ至リ、松林ノ中ニ於イテ座ヲ設ケ、席ヲ張り行厨ヲ開ク。又火ヲ燃シテ飯ヲ炊キ、茶ヲ烹レリ。

中尾村は、慈眼山の東方、有田川の左岸にある。ここで行厨にあたり、「火ヲ燃シテ飯ヲ炊キ、茶ヲ烹レリ。」とあるのは興味深い。



小ヶ瀬井手取水口